

指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：平成28年度）

担当部署名	産業文化部 農水振興課
評価対象期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	1,954,285 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市飯南茶業伝承館
	所 在 地	松阪市飯南町粥見1125番地1
	設置目的	茶業振興と茶製造技術の伝承を図るとともに、茶の歴史と茶情報発信拠点とすることを目的とする。
	設備の概要	敷地面積 915.36㎡ 建物 鉄骨一部2階建て 延床面積444.45㎡ ①製茶場129.60㎡ ②仕上場38.88㎡ ③研修室64.53㎡ ④展示室125.82㎡ ⑤その他85.62㎡

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	松阪市茶業組合
	所 在 地	松阪市飯南町粥見1125番地1
指定管理業務の内容		<input type="checkbox"/> 茶業振興対策の推進事業 <input type="checkbox"/> 茶製造技術の伝承事業 <input type="checkbox"/> 茶の歴史と茶情報の発信及び広報宣伝事業 <input type="checkbox"/> 茶業に関する調査及び研究事業 <input type="checkbox"/> 施設の利用の許可に関する事 <input type="checkbox"/> 施設の利用料金に関する事 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理に関する事
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	<input type="checkbox"/> お茶の淹れ方教室・手もみ茶体験教室などを10回221名に対して行った。 <input type="checkbox"/> 茶業振興対策及び広報活動に関する各種会議を18回開催した。 <input type="checkbox"/> 当施設の製茶場で全国・関西茶品評会への出品茶を4月25日から5月1日にかけて5日間、製茶加工し、関西茶品評会で農林水産大臣賞及び産地賞を受賞した。
	サービスの質の向上	<input type="checkbox"/> お茶の淹れ方教室や手もみ茶体験を通じて緑茶文化の伝承を図るため、市内小中学校をはじめ市内各種団から申込みのあった団体の積極的な受入れを行った。 <input type="checkbox"/> 第6回松阪茶グランプリの開催や松阪牛まつりなどイベントで松阪茶のPRを行なった。 <input type="checkbox"/> 三交路線バスへの松阪茶看板掲載及び販売店を紹介するロードマップを増刷し配布・PRを行った。
	施設・設備等の維持管理	<input type="checkbox"/> 飯南茶業伝承館管理運営規定に基づき管理運営を実施した。 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫の故障による買い替えを行った。 <input type="checkbox"/> 閉館時の施設警備については、警備委託し事故等の発生は無かった。
指定期間	平成24年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日	

(単位：円)

	事業計画	事業収支実績					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業収支推計	指定管理料	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,954,285	1,954,285	1,954,285
		630,000	270,849	252,423	271,448	298,890	219,280
		0	261,470	337,852	365,320	293,699	406,191
	計 (A)	2,530,000	2,432,319	2,490,275	2,591,053	2,546,874	2,579,756
支出	人件費	240,000	112,250	103,350	149,496	30,455	150,860
	事務費	2,284,000	2,186,279	2,115,673	2,157,930	2,154,239	2,128,381
	事業費	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	計 (B)	2,530,000	2,304,529	2,225,023	2,313,426	2,190,694	2,285,241
収支差引額 (A) - (B)		0	127,790	265,252	277,627	356,180	294,515

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評価項目		指定管理者自己評価		担当部署評価		
業務運営項目	内容	採点	判定	採点	判定	
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	3	B	3	B
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	3		3	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	3		3	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	4		3	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	4		3	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	3		3	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	3		3	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	4		4	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。(注1)	4	B	3	B
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	4		3	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	3		3	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	4		4	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	4		3	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	3		3	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	3		3	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	3		3	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	A	5	A
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	5		5	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	5		4	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	5		5	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		5	

【(注1)のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-(2)の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
<p>【努力した点・成果等】</p> <p>○市内小中学生や各種団体を対象にお茶の淹れ方教室や手もみ茶体験を積極的に開催し、施設の活用・利用者数の増加につなげることができた。</p> <p>○茶業組合会議や理事会を定期的に開催し、当該施設を中心とした茶業の現状や今後の茶業振興について意見交換を行った。</p> <p>○第6回松阪茶グランプリの開催、松阪木綿で作った法被を着て各種イベントで松阪茶のふるまいを行い松阪茶のPRを図った。</p>	<p>【評価すべき点】</p> <p>○市民を対象とした、各種教室を積極的に開催し緑茶文化の継承を行ったことや松阪茶グランプリや各種イベントでのふるまいで松阪茶のPRをできたことは評価できる。</p> <p>○茶業振興対策については、当該施設を中心に茶業振興について意見交換を行うなど施設の有効利用に向けた取り組みについて評価できる。</p>
<p>【改善すべき点】</p> <p>○淹れ方教室や手もみ茶体験を開催しているが、市民からのアンケートでも要望が多かった茶摘み体験も実施できるよう体制整備を行っていききたい。</p>	<p>【指導すべき点】</p> <p>○生活様式の変化など、本来のお茶の需要が減少し茶業の現状が厳しくなる中、茶業組合員の高齢化や減少が懸念される。今後も松阪茶の普及、振興のために茶業組合員の確保に努めていただきたい。</p>
<p>【所属長意見（今後の方向性等）】</p> <p>当施設について、清潔で適正に管理運営されている。お茶の淹れ方教室・手もみ茶体験は小学生から大人まで多くの方が参加され大変好評を得ており、施設の設置目的である、松阪茶の振興、文化・歴史の承継など取組みが評価できる。お茶の需給が減少しているなかで、今後も地域の特産品として、松阪茶のブランド振興に努めてほしい。</p>	